

<p>施設名</p>	<p>呉市川尻まちづくりセンター</p>		
<p>事業名</p>	<p>地元中学校生徒による地域ボランティアの活動</p>		
<p>趣旨</p>	<p>○地元中学生が、地域の人々と共に地域で活動する機会を得て、その体験活動を通じて、地域の人々と触れ合いながら人間関係を広げ、将来の地域社会を担う社会性を身につける。</p>		
<p>特徴</p>	<p>○中学校との連携 ○ボランティア活動を通しての人材育成</p>		
<p>事業の様子</p>			
<p><b>百人一首</b> 百人一首に慣れるため、初めは坊主めくりをしました。百人一首 100 枚を 5 色に分けて色ごとに対戦するかるた取りでは、ボランティアの中学生も参加して札を取り合いました。</p>	<p><b>スポーツかるた</b> 札にはお題が書かれています。楽しく体を動かすものばかりで、筋力、バランス、柔軟性から有酸素運動など、様々な運動を行い、基礎体力アップを図ります。中学生は読み手でお題にも挑戦します。</p>	<p><b>将棋入門</b> 将棋を覚えることで「待てる人間」になり、考える力や創造力、集中力が養われます。TV ゲームとは違う楽しさがあります。</p>	
<p>活動実績</p>	<p><b>【実施期日】</b>                  百人一首：平成 27 年夏休みから実施 9 回目                  スポーツかるた：平成 27 年冬休みから実施 6 回目                  将棋入門：平成 29 年夏休みから実施 3 回目</p> <p><b>【実施場所】</b>                  呉市川尻まちづくりセンター</p> <p><b>【実施機関・団体等】</b>                  呉市川尻まちづくりセンター、川尻中学校、小学生(申込のあった参加者)</p> <p><b>【対象者及び参加者数】</b> 小学生対象                  百人一首: 毎回 10~15 名                  スポーツかるた: 毎回 10~15 名                  将棋入門: 毎回 10~13 名</p> <p><b>【事業費】</b>                  0 円                  百人一首は職員が持参                  スポーツかるたは職員が購入分(私物)を貸出し                  将棋道具は公民館にあるものを利用</p>		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">活動実績</p>	<p><b>【参加者の声】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○五色百人一首を体験してみたが、全色覚えて対戦したかった。</li> <li>○中学生と対戦できて勝てた。でも他の色で負けた。</li> <li>○札を取ることができても、お題ができなかったら札がもらえないルールがおもしろかった。</li> <li>○新聞紙であんなに体を動かすことができることがわかった。</li> <li>○中学生に勝てた。でももう一人の中学生に負けた。もっと練習してくる。</li> <li>○お父さんともっと練習して強くなってまた来る。</li> </ul> <p><b>【自由記入】</b></p> <p>〈これまでの経緯〉</p> <p>○平成 22 年に川尻中学校より「中学生の地域ボランティア参加機会」の場を提供してほしいと依頼があり、夏休み・冬休み・春休みの間の子供講座企画ボランティアを募集した。11 人の参加があり、平成 23 年 2 月から企画会議、運営、実施(夏休み・冬休み・春休み講座)を試みた。中学生の予想を上回る積極的な意見や取り組む姿勢が見られたが一方で、職員・教員の負担が増えた。その反省をふまえて、平成 24 年夏休み講座からは講座の講師助手等務める等中学生が主体的に運営に携わり、現在まで続いている。</p> <p>〈中学校との連携〉</p> <p>○中学生は各団体から提供された地域ボランティアに参加するにあたり、本人が学校側に申請用紙を提出する。学校側は勉強・部活に差支えない時間帯で参加することを確認し許可する。また、センターと中学生との間で面談・説明会の場を設け、当日欠席する時は、理由を必ず学校側に連絡することや時間厳守(指定時間の 20 分前には到着のこと)・服装(制服・体操服)、言葉遣いなどについて事前に確認する。中学生はボランティア活動終了後、実施完了届を担当教員に提出する。</p> <p>○学校側の配慮もあり、中学 1・2 年生は冬休みに百人一首の暗記が宿題として出され休み明けの実力試験に出題される。ボランティア参加で実力試しにもなる。</p> <p>○「将棋の指せる中学生」を中学校には募集をお願いしている。(将棋入門)</p> <p>〈当日〉</p> <p>○中学生は開始 30 分前には来館し、職員より会場作りや講座内容について説明を受ける。そして、受講生の出席を確認する。講座終了後は忘れ物の確認や会場整備等をする。できるだけ中学生に運営をお願いするようにしている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果と課題</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>○中学生は、準備・運営に携わる中で、参加児童が満足して帰ってくれるのか、と不安そうだったが、講座終了後、小学生が笑顔で「ありがとうございました」と言ってくれた言葉を聞いてほっとした表情がうかがえた。</p> <p>○ボランティアが定着した昨今では、一度も参加したことがない中学生は一人もいないと聞いている。ボランティアに参加した子供達の話を知っているうちに自分も一度ボランティアをしてみようと自発的に参加する輪が広がっている。4 月の中学生会主催の新入生歓迎会では、中学校生活の中で「ボランティア参加は私たちの誇りです」と発表されている。</p> <p>○現在の町内での活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4 月 野呂山山開き前日準備・会場設営などの補助</li> <li>6 月 海水浴場の海開き前の砂浜清掃</li> <li>7 月 夏祭り前の神社周辺及びトイレの清掃</li> <li>10 月 秋祭り前の神社周辺及びトイレの清掃</li> <li>11 月 かわじり元気まつり 前日会場設営、当日の運営・片付け補助</li> </ul>

成果と課題	<p>1月 成人式の受け付け他          その他 各自治会行事の前日準備, 当日の運営, 片付けの補助など</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○活動内容を理解するのに時間がかかるため中学生には, 実施時間より早く来てもらわないといけない。(スポーツかるた・百人一首)</p> <p>○児童・生徒の数も減少してきており, ボランティアに関われる人数も限られてくる。当館では平成17年から中学生職場体験生徒を毎年受け入れて, 講師助手・小学生対象講座の企画・運営をお願いしているが, 受け入れ中学生が少なければ, 講座の実施も難しくなる。</p> <p>○参加児童の保護者から将棋と百人一首は, 通年講座にならないかという要望が出ている。中学生プロ棋士誕生や映画「ちはやふる」の効果等が背景にあるのかもしれないが, 難しい状況である。</p> <p><b>【運営した感想】</b></p> <p>(工夫したこと)</p> <p>○中学生が習う立場から, 教える立場になったことで緊張して話せないということのないように職員がアイスブレイクを実施し, 場に溶け込みやすくした。</p> <p>(嬉しかったこと)</p> <p>○小学生が理解できるように繰り返し説明をしたことで, 慕ってくる小学生の相手をする中学生の姿は微笑ましかった。</p> <p>○ボランティアに来てくれる中学生が固定されていないのが一番嬉しい。</p> <p>(今後の希望)</p> <p>○小学生を対象とした講座を企画する場合は, 小学生に年齢に近い中学生の意見が聞けるので, ボランティア参加機会がずっと続けばと思う。</p> <p>○小・中学校の交流の場としての機能も果たしており, 成人になってこのまちづくりセンターを拠点としてまちづくりを考えてくれるようになってくれることを期待している。</p>
	連絡先